

あれこれ 町政を問う

Q. 自然エネルギー利用は

A. 庁舎に太陽光発電設備と蓄電池が整備できる予定



村井 慶太郎 議員

問 全国的にも脱原発を目指し、メガソーラーや風力発電を積極的に取り組んでいる自治体も多いが、今後、本町の自然エネルギー利用に対する考えを伺う。

答 町長

現在耐震工事中の岡田小学校の校舎、北伊予中学校の校舎にも、同規模の太陽光の発電設備をすることにしている。

また、役場の庁舎は、国の再生可能エネルギー等導入推進基金を活用した補助事業を申請している。これが採択されれば、来年度に20の太陽光発電設備と蓄電池が整備できる予定だ。

また、メガソーラーを、設置するには広い面積が必要となり、町独自で取り組むことは非常に難しいと考えている。

問 老朽保育所の今後の計画は

老朽保育所について、5年前にも同じ質問をしている。松前保育所と宗意原保育所の統合の計画があると記憶している。用地確保と統合、または新設の計画はあるのか。今後の計画を伺う。

答 統合を前提に建替えを検討

保険福祉部長

松前保育所と宗意原保育所の統合、新設の計画については、町立保育所の効率的な運営を図るため、民営化も視野に入れた、統合を前提に建替えを検討している。

現在は、建設場所について松前保育所の場所も含め、保育施設の環境や利便性、また他の保育所との位置なども考慮しながら検討している。

問 北黒田海岸整備事業立退き交渉の経過は

造成工事費の補正が上がっているが、立退き交渉の経過は現在どのようになっているのか。

答 移転を表明しているのは1社

防災担当副町長

現在移転を表明しているのは1社のみ。海岸整備工事は、管理者である県が行っている。

将来予測される巨大地震の津波対策として早期に完成するよう強く要望している。

その他の質問

問 防災に対する具体策

答 順次財政状況を考慮しながら計画的に実施。

問 地域密着型サービス事業者の決定方法の公開を

答 委員会を構成する委員の皆さんの独自性に任せる。

問 義農顕彰館について

答 年明けには具体的な計画に向けて意見を聞く。

丸い屋根でも太陽光発電(庁舎)備えます

